

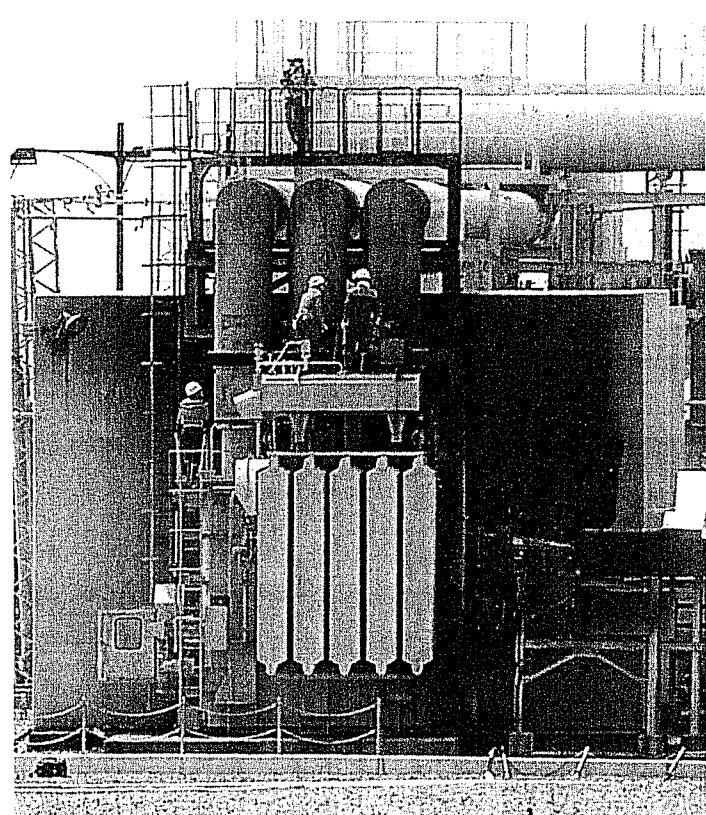
## 中越沖地震

# 「再び震災予想外」87%

## 被災者調査 半数「備えなし」

新潟県中越沖地震で避難所生活が続ける被災者30人を対象に、読売新聞が18日、アンケート調査を実施したところ、2004年の中越地震の教訓を生かした備えができていなかったと回答した人が半数以上にとぼった。中越地震を経験した地域だが、9割近くは「その後の大規模地震を想定していなかった」とした。また、自宅での生活に戻ると見通しを持っていない人は4割に達している。(関連記事35面)

調査は、柏崎市内の避難69人。年齢別は30代26人、40代24人、50代18人、60代31人、70代以上31人。中越があとと思っていなかった「前回は被害が少なく、」と回答者は男性61人、女性18人。地震を経験した人は、93%と答えたのは、全体の87%と目く見えていた」と



柏崎市消防本部によって行われた3号機変圧器付近の調査(18日午後2時10分、東京電力柏崎刈羽原発で)＝佐々木紀明撮影

### 消防が現場調査

原発火災

東京電力は18日、新潟県に公開した。

中越沖地震で火災が発生した柏崎刈羽原子力発電所3号機の変圧器付近を報道陣

火災現場では、柏崎市消防本部による原因調査が進められていた。同本部や東電によると、地震の影響で、電による、地震の影響で、

### 中越沖地震関連

230113173335

中越地震を教訓に食料備蓄などの備えをしていたかどうかを質問したところ、72人(55%)が「備えていなかった」と回答した。いったん備蓄したにもかかわらず、その後には飲食したまま補給せず、今回の地震に見舞われたケースもあった。現在の避難所生活での不満(複数回答)については、仮設トイレを中心とした「衛生状態」が最も多く38

人。入浴や洗面、洗濯など「している」と回答。しかし、「生活用水」(27人)、54人は「まったくなくて」「飲料水・食料不足」(12人)、「隣の人の話し声(騒音)」(8人)、「授乳(災害心理学)の話」「ライバシー」(6人)など、度大きな地震が来たら、しが続いた。「ない」と答えたのは29人だった。

ボランティアに対する要望(自由回答)では、「自宅などの片づけ」の32人が最多。回答者の大半は、2人暮らしの老夫婦など、人手が足りない世帯だった。被災した自宅の再建のメドについては、58人が「たぶん」という防災教育が必要だ

## 死者10人に

新潟県柏崎市内の墓地で18日夜、行方不明になっていた無職猪俣孝さん(76)が、地震で倒れた墓石などの下敷きになって死亡しているのが見つかった。中越沖地震の犠牲者は10人目。避難所への避難者は18日午後5時現在、4743人。断水は同9時現在、約4万1000戸で続いているが、停電は18日夜、すべて解消された。北陸自動車道は18日夜、全面開通した。一方、柏崎市は18日夜までに、土砂崩れの危険があるなどとして82世帯154

人に避難指示を出した。

18日午後4時53分ごろ、中越沖地震の余震があり、新潟県出雲崎町で震度4を観測した。震度4以上の余震は16日夜以来、これで余震は、19日午前1時までに計104回となった。